



かわせみ

令和4年12月17日  
第31号  
●発行●  
三島市文化芸術協会  
●事務所●  
三島市産業文化部文化振興課内  
TEL. 055-983-2756  
加盟団体 41団体



## 目次

❖ 市文協の活動（靱山）.....	2	演劇部.....	9
❖ 芸術祭特別ゲスト片岡さんについて（佐藤）.2		芸能部.....	10-11
❖ 第60回芸術祭を終えて（小野寺）.....	3	日本舞踊部.....	12-13
❖ 令和4年市文協活動の軌跡.....	4-6	吟詠・詩舞部.....	14
❖ 新入会団体紹介.....	6-7	邦楽部.....	14-15
❖ 話題（topic）.....	7	洋楽部.....	15
❖ 部会 information		❖ 役員改選.....	16
ギャラリー部.....	8	❖ 令和4年度市文協の主な行事.....	16
生活文化部.....	9		

## 市文協の活動

会長 粗山 宗源

本年八月十五日、「三嶋大祭り」が三年ぶりにシャギリの音と共にかえってきました。翌十六日の頼朝公旗揚げ行列には大河ドラマで頼朝役の大泉洋を迎え、一気に盛り上がりました。天候にも恵まれた三日間でした。

私は十五日朝刊の天声人語を切り抜き大切に保管しています。以下記事を紹介すると、「静岡県三嶋大社といえば、源頼朝が崇敬した神社として知られる。しかし終戦直後に社務所で講演会が開かれ、それが市民による学びの場に発展したことはあまり知られていない。その名も『庶民大学三嶋教室』には誰でも参加できた」（以下省略）最後に「庶民大学での学びは、この地の文化活動や庶民運動へとつながっていった。」とある。その主要メンバーが私たち市文協の前身である三嶋文化協会のメンバーであったことを後で知った。私たちの活動の源泉がそこにあったと気付かされ誇らしい思いがしている。

さて、市文協の本年はコロナの第六波、七波の影響のもとではあったが、夏祭りパレード参加、芸術祭、

話芸の夕べと予定した行事をつつがなく実施できた。猛暑の中での夏祭りパレードは三年ぶりの参加となりました。参加者は若干寂しい「連」ではありましたが、猛暑の中全員元気に踊り切りました。

市民芸術祭は六十回を記念すべきと検討を重ね、横断幕を作成して文化館の壁面に期間中掲示、大いにアピールできたと思います。通行人からも目につき、特に商工会議所からは目立った看板となりました。オープニングの生け花、写真展には多くの方を迎えセレモニーを開催。参加者全員による盛り花の投げ込みは実行委員会のサプライズ企画でした。以後三週間に渡る展示も例年通り美術展、書道展と開催されました。舞台の初日には茶道連盟による呈茶席を設け、映りもよく好評でした。記念公演として三島市在住のプロの大鼓奏者片岡亮太さんを芸能部会のステージにお迎えしました。クロージングの洋楽では懐かしい「今日の日はさよなら」の大合唱で締めくくることができました。話芸の夕べは会員の協力でにぎやかに開催できました。三年ぶりの新春の集いも実行に向け取り組んでいるところです。

## 「芸術祭特別ゲスト

### 片岡さんについて

三島市文化芸術協会顧問

佐藤 真吾

片岡亮太様との出会いは、七年前、私が東部社会教育振興協議会に勤めているときでした。

私たちの事務所は、沼津市視覚特別支援学校の一室をお借りしていました。私は、学校からコンプライアンス委員を委嘱され、片岡様は学校評議員をなさっていました。年に何回かの合同会議で一緒にしたのが縁でした。

全盲の片岡様は、とてもご実直で、素晴らしいご意見を発表なさっていたことを覚えています。また、お身体からにじみ出るエネルギー、オーラを私は感じました。体育館で生徒に指導している太鼓の音が、事務局まで聞こえてきました。魅力的な音でした。同僚に「片岡様の太鼓とお話をお聞きしたいね。」という話をしていたところ、その同僚が地区の行事にお呼びしました。「とても良いお話で、太鼓も心を揺さぶられました。」ということでした。

私も、仕事の中で機会があれば講師にお話ししようと思っていました。が、その前に退職してしまいその願いは果たせませんでした。

たまたま三島市文化芸術協会の役員を仰せつかり、第六十回の記念芸術祭にお呼びできれば、と皆様にお諮りしました。三島市にお住まいで、三島の文化を担っているおひとりであり、人物も太鼓演奏も申し分ない、というお話をし、芸術祭「芸能の部」に特別出演をさせていただくことになったわけです。

芸術祭当日は、太鼓演奏に始まり、自分の生きてきた道、障害者としての気持ち等お話ししてくださいました。また、奥様のジャズホルン奏者 山村優子様との共演をなさいました。

汗いっぱいになり太鼓をたたく片岡様の演奏は、それは言葉で言い尽



くされないほどの魅力あるものでした。また、上智大学の社会福祉科では首席で卒業なさり、社会福祉士としての資格も持ち、活かして生きていることに感動しました。

奥様の山村優子さんとの共演も息の合った魅力的な演奏でした。

今まで以上に観客も多く、私は芸術祭担当から離れています、「やっつてよかった」という気持ちでいっぱいです。

国内でも、海外でもご活躍の片岡様ご夫妻に、拍手をお送りします。ありがとうございました。

## 第六十回芸術祭を終えて

芸術祭実行委員長

小野寺 絢山

前委員長佐藤眞吾さんより令和四年四月にバトンを受け取り、芸術祭実行委員長となりました小野寺です。芸術祭が第六十回を迎える年に引き継ぎましたのでやることなすこと初めてのことばかりでオロオロするばかりでした。

特別演奏を片岡亮太さんと山村優子さんをお願いすることは佐藤前委員長が責任をもってお話しいただき最後まで面倒見ていただき大変感謝しております。

今年のスローガンである「輝け個

性 はばたけ文化」の大目標に向け各部会で知恵を絞った演出を披露していただきました。

オープニングセレモニーはいけばな展・写真展会場の一角を利用し開催しました。コロナ禍の規模は縮小させていただきましたが良いオープニングだったと思います。

いけばなは前半・後半と展示物を入れ替えておられましたし、写真はゆったりしたスペースで展示されまた途中でレイアウトの変更をされたりしておりました。

翌週の美術展は絵画・陶芸・墨絵等で力作ぞろいで陶芸にはユニークな作品も展示されておりました。展示の部最後には、元会長でした故山田先生の作品も展示されておりました。

舞台の方は十月八日の邦楽・吟詠の部、十月九日の日舞の部とさすがの演奏・吟詠・演舞を披露していただきました。多少のアクシデントは御愛嬌としてお許し願います。

また、八日に呈茶の席を設けていただき華を添えていただきました。

十月十六日の芸能の部では特別演奏の片岡亮太さん山村優子さんの演奏を二部として素晴らしい演奏に聞き入り、また片岡さんのお話にも興味を持つことができました。

前後の一部・三部の部員の皆さんの

演奏も素晴らしいものでした。

大トリは十一月十三日の洋楽の部でしたがこちらも部員の皆さんの素晴らしい演奏に感動しました。

展示者・演奏者の願いは自分たちの作品・成果を発表し多くの皆さんに見ていただき、それまでの努力の結晶を評価していただくことです。その為にこの芸術祭をより多くの皆さんに知っていただき訪れていただくことが大事です。

今回、ゆうゆうホールのご協力のもと野外ステージ後ろに横断幕を掲示させていただきました。見ていただいた方も多いと思います。デザインやレイアウト等実行委員会でアイデアを出し合いながらのものでしたが掲示出来てよかったと思います。

特に市役所の方から良い掲示場所を見つけられましたねと言われたのが

うれしかったです。あの場所を最初に利用したのは市文協かもしれません。

また、発表者・演者だけではイベントは成功しません。たくさんの方々の協力があつてより良いイベントになります。今回も他部門の方々の大きな応援をいただき大変感謝しております。本当に皆さんのご協力の賜物です。

新型コロナウイルスが第八波といわれている今日この頃、芸術祭もできるかどうか少々迷いはありました。しかし、一昨年・昨年の経験もありましたので、芸術祭実行委員会は話し合いを行い、コロナ対策を十分行うことで実施することに決定しました。

今後も三島の芸術祭の質をさらに高め、皆様からも「よくやっている」「素晴らしい芸術祭だ」といわれるようなものを作り上げていきたいと思えます。



令和4年市文協

# 活動の軌跡



三島市文化芸術協会

司会を杉山さん、議長には清原さん、書記は水口さんをお願いし議事を進めました。



4月22日総会

総会

三嶋大祭りパレード



8月2日 農兵節のお稽古



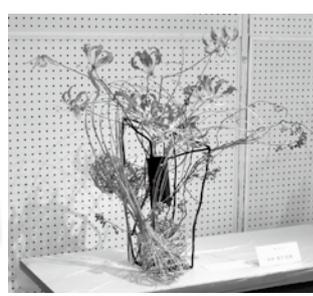
8月17日



芸術祭 オープニングセレモニー



10月6日



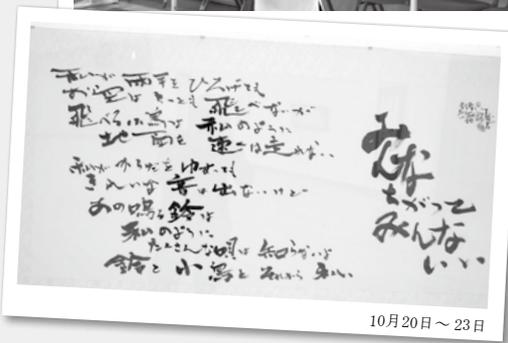
10月6日～9日

芸術祭 いけばな展・写真展



10月13日～16日

芸術祭 美術展



10月20日～23日

芸術祭 書道展



10月16日



10月8日



10月9日

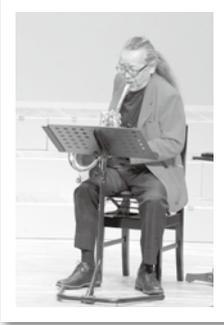




11月14日



話芸の夕べ 柳家花緑・緑助



11月17日

新入会団体紹介

朗読会カメラア

池 明子

朗読会カメラアは令和五年四月で発足二年を迎えます。

講師は静岡県舞台芸術センター(SAC)から俳優の木内琴子氏に指導頂いております。

私達は朗読文化の普及に努め、文章や詩歌を読む時には聴き手の心に届くように聴き手の心が振り向くような朗読活動を目指します。

活動報告

- 1. 勉強会 月一回二時間
- 2. 司会活動

- ① 函南町文化協会総会

- ② 第13回

函南フライフエスタ

- ③ 2022 IZUアロハライブ

- ④ 第54回函南町文化祭

芸能部門

- ⑤ 函南クラシック

コンサート

- 3. 発表会

第54回函南町文化祭

宮沢賢治作

「いちじょうの実」



オルマカニフラオハハラウ

瀬川きよ美

私共のハラウは今年で十年経ちました。

コロナ禍で二回延期しましたが、五月二十一日にホイケ(発表会)をゆうゆうホール小ホールにて開催する事ができました。

十月十日は伊豆の国市文化祭に出演しました。

三島市の市民芸術祭は、出演できませんでしたが、来年は、舞台に立てるようにお教室にて練習に励んでおります。

来年はコロナも収束してマスクなしで生活出来る事を願っています。

# 話題 topic 記念行事の紹介

## 三島市茶道連盟の40周年(2月13日)

三島市茶道連盟  
会長 渡辺宗契

三島市茶道連盟は、昭和57年2月に産声を上げました。連盟設立以前は一樹会として渡辺宗美先生の社中が加盟しておりましたが、市制40周年のお祝い行事には一社中ではとても対応できないという



ことで、連盟設立の運びとなりました。県下でもいち早い連盟発足となり、翌



年以降沼津市をはじめとして他市町にも波及していき、その後の静岡県茶道連盟設立へとつながっていきました。

例年記念行事を市内のホテルで開催してきましたが、非常事態宣言下であり、今回は食事なしの寂しい会となり残念です。記念茶会は3月6日、表千家・裏千家と煎茶席を会の代表が席主を担当し、豊岡市長にもご来席いただき40周年を祝いました。

## 第15回(30周年記念)定期演奏会

青木郁恵

Remyの会は、クラシック音楽を専門に学んでいる研修グループです。個人プレーが当たり前のよう



に謳歌しているこの分野で、ここまでまとまって持続している団体は珍しいといえます。其々自己目標を掲げ、自己研鑽の場として2年ごとに定期演奏会、研修会を開催しています。また毎年芸術祭にも参加しています。

今年市文協の仲間に入れていただいた年から30周年となる記念の年でした。

9月4日(日)に三島市民文化会館小ホールで「第15回定期演奏会」を開催しました。ピアノ独奏4名、



フルート独奏、ハープ独奏、2台ピアノ3組。皆30周年に相応しい曲を選び、満席のお客様の中で心を込めて演奏致しました。客席の皆様は演奏を聴いていただく事の喜びと感謝の気持ちを再認識させて頂きました。日頃忙しい毎日を過ごしていますが、私達は家族の協力や周りの皆様に支えられているからこそ音楽に勤しむ事ができることに改めて気付いた日でもありました。

はじめの演奏会が終わり、若い仲間も増えました。16回に向けて気持ちも新たに頑張っていきたいと思えます。

### 新入会団体紹介

NPO法人静岡地域教育芸術協会

理事長 佐野淳祥

私たちNPO法人静岡地域教育芸術協会は、理事長佐野淳祥と理事・会員によって二〇〇九年に設立。活動のキヤッチフレーズは「地域の音楽を地域で支援する、音楽の地産地消」。

特に若い世代やクラシック音楽を地域で広げるために、①【Mt. Fujiのヴァルトウオーンたち(オーディション型コンサート)】、②【アンサンブルを楽しむヴァイオリンクラブ《サウンドガーデン》】、③【市民オーケストラの事務局運営】、④【レベルアップを求める中学生のための《CIS伊豆中学生選抜吹奏楽団》の事務局運営】などを展開しています。

①では、日本を代表する指揮者の下野竜也さんとヴァイオリニストの矢部達哉さんを審査員に迎え、地域の音楽家のステップアップに貢献しています。②は、子どもから大人まで複数人で音楽を合わせるアンサンブルを毎週楽しんでいきます。③と④では安定的に団体運営ができるよう事務局委託を受け、さらなる団の発展に寄与していきます。

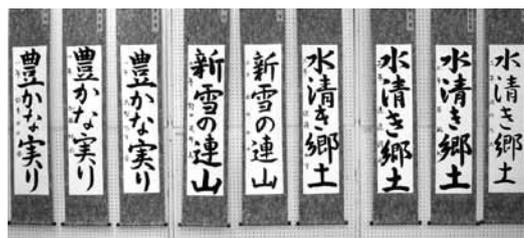


# ギャラリー部

三島書作家協会  
新興岳南書作家協会

久保田 山吹

令和四年度 三島書作家協会は五月五日こどもの日の祝日から八日まで三島市民生涯学習センター三階の市民ギャラリーにおいて第三九回三島書作家協会展を開催いたしました。連休最終日からの開催の影響もあったのか例年の半分程度の鑑賞者にとどまり残念な結果ではありました。その分を取り戻すべく十月の芸術祭に臨み作品制作に力を注いだ結果例年にならばエッセイに富んだ作品が集まり、見てくださいました方々の評判も上々でした。



一方の新興岳南書作家協会は年度は昨年度(令和三年度)に組み込まれるもの、本年二月一日より一三日まで第七〇回という記念の新春書道展を開催することができました。記念展ということで例年とは展示方法は

佐野美術館友の会 三島美術協会  
新興岳南書作家協会 三島書作家協会  
サンズフォトクラブ

変更し作品を仮巻きに表装して展示いたしました。表装されていることで展覧会が終了した後も飾ることもでき、作品自体も一段と見栄えが良くなり大変好評でした。



次回もこの形で開催できるようにしていきたいと考えています。芸術祭には三島書作家協会と合同で参加を致しました。書作家協会の会員に負けない作品を展示できるように奮闘した結果が発揮できてよかったと思っております。

## 佐野美術館友の会

中島良和

恒例の佐野美術館友の会四部門合同の「友の会作品展」は三月開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況が予想以上に悪くなりましたので、残念ながら中止しました。中止は連続二回目です。しかし、洋画部の作品展「遊彩展」は六月にギャラリー・プラザで、墨絵部の作品展「墨彩展」は九月に市民ギャラリーで



それぞれ開催し、多くの方々に見て頂きました。第六十回三島市民芸術祭美術展には、今回出展の当番年でしたの

で、墨絵部三十五名、日本画部十九名、洋画部十三名、陶芸部十四名が出品しました。作品数は絵画一〇六点、陶芸作品約七十点で、全四日の展示期間中の観客数は約四百五十名でした。作品の中にはお客様から高い評価を受けたものもあり、出品者の励みになりました。間もなく年末ですが、私達の会では、中止の続いた「友の会作品展」を来年こそは開催したいとの願いを込めて、作品や会場の準備をしています。

## 三島美術協会

大村義信

今年度は、三島市民芸術祭で展示の予定がありませんでした。このため、秋のスケッチ会を計画しておりましたが、諸般の事情により未実施でした。会員は、次年度の開催展に向けて制作に励んでおります。掲載写真は、令和四年五月十八日か

ら二十二日まで三島市民ギャラリー等で開催した第六十六回三島美術協会展の様子です。四百二十名の来場者がありました。



## サンズフォトクラブ

村上益男

コロナ過で芸術祭を終え、色々制限が解かれ人の流れが戻ってくる中今年の芸術祭が行われ、我々サンズ・フォトクラブは、オープンングセレモニー及び展示を華道連盟の人達と行なうこととなり、お互いに人の交流ができ、相乗効果につながったのではないかと！



我々サンズ・フォトクラブは共通テーマを「明暗」とし作者の考え方が個性がよく見え、「自由テーマ」では、多目的ホールいっぱい、開放的なレイアウトで作者の個性を出し、展示を楽しみ、来場者も楽しくご覧になられたと思います。

# 生活文化部

三島市華道連盟 三島市茶道連盟  
朗読の会カメラア

今年度は「朗読の会カメラア」が新規加入され部会もより幅が広がりました。

『三島市茶道連盟』

● 記念誌「四十周年の記憶」を発行配布

● 総 会 二月十三日 文化会館

● 四十周年記念茶会（三席） 三月六日 文化会館・梅御殿

● 虚心庵茶会 九回 四月二十四日 梅御殿

● 十回 十二月十一日

● 芸術祭（第六十回）呈茶席 十月八日 文化会館小ホール ホワイエ

『三島市華道連盟』

● 花のまちフェア 大作二作品 五月二十七日～二十九日 楽寿園

● 芸術祭オープニングセレモニー（写真と華道）

○ いけばな展 一次展～二次展

十月六日～九日 生涯学習センター

● 生涯学習センターロビー花 一年中 生涯センターロビー

華道連盟創立六十五周年になりました。大勢の方に観ていただき何かを感じ、心に残るものがあれば私たち活けての励みとなります。

渡邊 小夜子

生涯学習センターロビーの  
迎え花（いけばな展）



# 演 劇 部

伊豆市民劇場 三島おやこ劇場 シアター万華鏡

演劇部会は、三団体の小さな部会ですが、二月に行われる三島市民演劇祭の実行委員団体として協力しあっている、仲のいい部会です。市民演劇祭は二〇二〇年からコロナで開催中止となり二〇二三年二月には、久しぶりに開催の予定です。良く継続は力なりと言いますが、定期的に頑張ってきたものを中止にすると再開する事が非常に難しい事をこのコロナで実感しました。

一度消えてしまった文化の火をもう一度灯す事の難しさ・労力の大きさを認識する今日この頃です。文化を守って行く事の大変さをあらためて認識し、三島市文化芸術協会の目的・意義についても再度考えさせられた一年でもありました。

コロナ・高齢化などの問題が山積みで、これからどうなっていくのか不安もありますが、三団体とも演劇を楽しんで、しみながら、それぞれの活動にとりくんでいきたいと思えます。



## 三島おやこ劇場

第 361 回例会『きみがしらないひみつの三人』  
(劇団うりんこ公演)

## 伊豆市民劇場

第 394 回例会『てだのふあ』(イツフォーリーズ公演)



## Halau Hula O Makalea



第60回芸術祭に向けて、個性的なフラで飾りたいと思い、タヒチアン「イアオラナ」とポップス「恋に落ちて」Fall in Love を振りつけました。

また、ウクレレではブルーハワイを演奏してハワイの愛おしい夜をフラとともに感じて頂けました。これからも私達フラダンサーは曲を演じるパフォーマーとして活動してゆきます。民



## 静岡県民謡協会 祭り節 日本一全国大会

主催/静岡県民謡協会 共催/静岡県文化協会



★静岡県の民謡「ちゃっきり節日本一全国大会」は令和5年7月1日（土）三島市民会館小ホールにて開催の予定をしています。

★静岡県民謡協会第46回大会は11月27日（日）静岡市かわはら会館にて開催しました。

## 粹翔流鳳艶会



唐人お吉物語は、お吉の哀しく散った花の生涯を踊り観客の涙を誘う場面もありました。

義経千本桜～さくらさくらは、激しい義経千本桜の曲のあと緩やかにさくらの曲で毛槍・振り出し傘・桜の枝を持ち全員で観客が楽しめるよう創作舞踊として賑やかに構成しました。

来年61回も尚一層元気に精進して参ります。

## 千丈民謡会



今年は、コンクールや芸術祭に出場する機会がふえましたがコロナ禍の影響もあり体調を崩す会員もでてき、参加人数も減りました。

その中で日本古来、受け継がれてきた民謡を絶やさないよう活動しています。

今回は、北から南の代表曲をメドレーにし、一人一人の個性ある唄声を聴いてもらい民謡のよさを体で感じてもらえるように企画しました。

これからも民謡が身近になるよう発信してゆきます。

## 溪聲会



「丹田呼吸」は健康作りに効果的であると共に、尺八の基礎呼吸法です。

下腹（丹田）をへこませて、30秒間息を少しずつ吐く訓練をします。この息で尺八を吹くのです。

年齢や性別に関係なく、尺八を楽しむことができます。

民謡の王様「江差追分」を大勢で演奏するときの迫力を聞く人に届けたいと願っています。

挑戦してください。

# 芸 能 部

Halau Hula O Makalea 静岡県民謡協会 千丈民謡会 粋翔流鳳艶会  
溪聲会 静岡睦実会 寿鈴会 中島八坂太鼓保存会  
オルマカニ フラ ハーラウ

芸能部門は「和太鼓」「民謡」「舞踊」「フラダンス」と、バラエティがあり、お客様に大変喜んで頂いております。今年度よりフラダンスのオルマカニ フラ ハーラウが入会しました。これからも応援を宜しくお願い致します。



## 「輝け個性 はばたけ文化」第60回芸術祭!



### 中島八坂太鼓保存会



今年も、コロナ禍の影響で活動が制限される日々が続いておりますが、少しでも皆に元気になって頂きたいそんな思いで活動しています。

太鼓の魅力は、「響き」「リズム」「躍動感」。これを表現し、皆に感動を与える太鼓を目指します。

### 静岡睦実会



静岡睦実会は杉山会主亡きあと、長澤が代表になりました。三味線の合奏が主でしたが、高齢になり次々と卒業して、9人になりました。

長澤の出身地が宮城県なので、秋田の唄も勉強して、三味線と唄を宗家にご指導頂き進む道が決まり頑張っていたのですが、60回を目前にして3人が家庭の都合で卒業しました。

残り6人になり芸術祭まで一か月もないというとき、1人が入院しました。他の2人も体調をくずし残り3人になり芸術祭参加は無理というところまで来ました。

10月に入り入院した人も退院し、他の2人も自分でやる気を出して、何とか6人で10月16日の朝を向かえることが出来ました。さすが皆ベテランで、舞台ではとくに失敗もなく、幕が下りました。

三島ではなかなか聞かない秋田の唄と三味線をこれからも広げて行き、若い人にも興味をもってもらいたいと思います。

### 寿鈴会



今年は22回目の、芸術祭参加。今年も会員一丸となって、発表することができました。

日頃1対1のお稽古ですので、芸術祭、合同稽古、新年会等には皆久々に顔を合わせるのにぎやかです。

これからも、日本の文化を大切に、継続していきたいと思っております。



コロナ禍はまだまだ予断をゆるさない状況が続いていますが、日本舞踊部会は、少しずつ歩みを進めています。各社中の大きいお祝い会があり、勉強をさせていただいています。芸術祭も無事終了し、市文協の皆さまには大変お世話になりました。今後も以前のようにはなかなか戻らないかもしれませんが、工夫をしながら頑張っていこうと思います。

日本舞踊部 花柳尋美翠

### 花柳流 美翠会 会主 花柳尋美翠

徐々に講習会やお祝い会等が行われ、以前のようになりつつあります。お稽古だけでは進歩がなく、発表の場がないと成長がありません。とは言っても大変ですが、努力をして頑張ろうと思います。



### 花月流 八千代会 会主 花月乙千寿

コロナウイルス感染対策でワクチン接種も進み、地域の活動も再開され三島市も「大祭り」が再開され芸術文化の催し物が各地で行われるなかでの芸術祭でした。

来年の3月26日に八千代会の発表会を行う事もあり、出演者たちはお稽古不足もあり心配していましたが無事踊り終える事が出来ました。



### 花柳流 三島樹の会 代表 花柳美樹品

樹の会は、亡き衛樹(もりき)先生遺作のメドレーを感謝となつかしさを感じながらお贈り致しました。この曲は演者が常に揃わないと稽古にならない作品なので、コロナの心配りをしながら行いました。

今年から花柳美樹品さんが師範のお許しを頂き、樹の会のリーダーを務める事と成り学生、青年、老年と多様の集まりをお世話する事となりました。会の発展が楽しみです。



日本舞踊部

藤間流 伊世藤会 勘伊世社中 藤間流 伊世藤会 伊世之社中  
 花柳流 美翠会 正派若柳流 芙柳会 花月流 八千代会  
 花柳流 三島樹の会

正派若柳流 芙柳会 会主 若柳千勲

コロナも心配でしたが会場のMOA美術館の協力で6月19日に4年ぶりの発表会を開催致しました。  
 「能楽堂」での発表は格式高くすがすがしい気持ちで発表会を楽しませていただきました。  
 芸術祭では直前に「棒しばり」の出演者が出演できず、急遽演目を変えての発表になり急だったにもかかわらずしっかり舞台を務めてくれほっとし又感謝です。



MOA美術館能楽堂



長唄「可祝の柳」



長唄「大原女」

藤間流 伊世藤会 勘伊世社中 会主 藤間勘伊世

恒例の踊り初め、浴衣ざらいも無事に終了できました。  
 また本年は伊世藤会の日本舞踊公演の年、勘伊世社中からも出演致しました。  
 来年度も感染予防対策をしっかりとり活発な活動をして参りたいと思います。  
 1日も早いコロナの収束を願っております。

藤間流 伊世藤会 伊世之社中 会主 藤間伊世之

- 1月 藤間之宏「黎明の会」リサイタル 於 東京日本橋劇場
- 1月 伊世藤会「踊り初め」
- 4月 伊世藤会日本舞踊公演 於 三島市民文化会館大ホール
- 7月 伊世藤会「浴衣浚い」
- 8月 三島大祭り「踊り屋台」出演
- 10月 三島市民芸術祭参加
- 10月 全国俳句の会特別出演

本年は3年に1度の公演の年、感染予防対策をしっかりと開催致しました。いろいろ不安はありましたが大勢のお客様がお運び下さり、感謝の気持ちでいっぱいでした。恒例の行事と共に全て無事に終了することができ前向きに行動することの大切さを痛感致しました。来年もまたさらなる飛躍を目指して参ります。



常磐津「積戀雪関扉」～下～



長唄「末広狩」



長唄「藤娘」



長唄「鷺娘」

彩音会・佳きつどひ

杵屋勝一葉

今年の芸術祭は、六十回という大きな節目の年、横断幕を作り邦楽、吟詠詩舞の舞台の日、茶道部による呈茶会が催される等々華やかに行われました。長唄の舞台も十人並んで小鍛冶を演奏して花を添えました。

十人が息を合わせるために真剣に稽古に取り組みました。また四季遊景抄では春・夏・秋・冬それぞれの季節をよどみなく軽やかに演奏するためにすばやく曲をつなげる苦労がありました。しっかりと羽ばたけたでしょうか。まだ、



コロナウ  
イルスの  
影響が大  
きくかぶ  
さつてお  
りますが  
観客動員  
も出来て  
ほつとし  
ています。

八月末には、NHKの主催で未来へ繋ぐ古典芸能を表す舞台が、国立劇場で行われ大舞台に乗ってきました。これもまた今年の芸術祭のスローガンの一つを表せたかと思えます。来年も新たな気持ちで頑張れます。



三嶋大社崇敬会詩吟クラブ

心超流三島朗吟会  
詩舞星舟流星舟会

岳心流三島愛吟国風会  
琇峰流沼津吟詠会三島

吟詠・詩舞部

吟詠・詩舞部会

馬場 凌心

吟詠詩舞部会は、芸術祭が今年、六十回の節目に当たることにより鑑み、お祝いの気持ちを込め、お目出度い吟で、参加して、盛り上げることにしました。

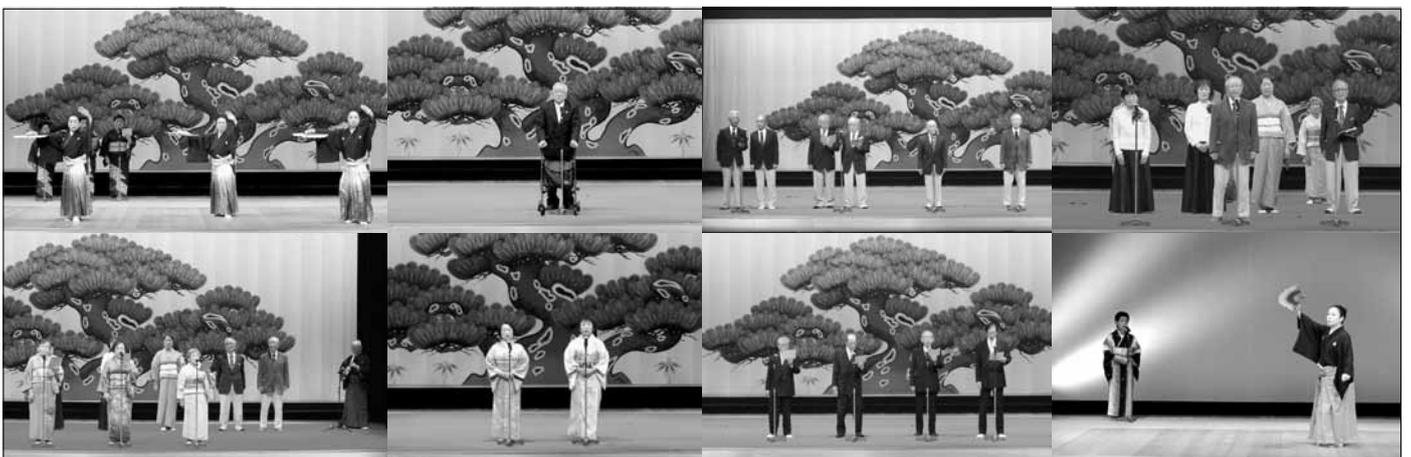
第一部は、「松竹梅」「宝船」「富士山」「富嶽」「歌謡吟・祝い船」など、どの吟も、結婚式や上棟式などの、お目出度い席で詠われる吟を詠いました。

第二部では、若山牧水の短歌を詠いました。若山牧水は、沼津と富士山をこよなく愛した詠み人でした。その短歌の中から、富士山を詠んだ五首を取り上げて詠いました。

詩舞も、富士山を詠んだ、山部の赤人の「田子の浦ゆ、打ち出でてみれば真白にぞ、富士の高嶺に雪は降りける」や「祝賀の詩」を舞いました。

フィナーレの「追想三島山中城」も、三曲の皆さんにも加わってもらい、盛大に出来たと思っております。

ただ、残念だったのは、例年、上手の壁面に投影していた詩文が、プロジェクターの不具合で、表示できなかったことです。



邦楽部

長唄 彩音会  
三島三曲の会

長唄 佳きつどひ



まだま  
だコロナ  
の影響下  
ではすべ  
ての行事  
を行うこ  
とはでき  
ませんが  
できるこ  
とから実  
施してい  
きます。

た。できま  
し。くこと  
が。奏会を  
開。定期演  
三十二回  
んでの第  
十月十日  
にはお客  
様を呼

三島三曲の会  
小野寺 絢山  
箏・尺八・三絃の演奏を通じて個人の研鑽演奏活動に取り組んできました私達「三島三曲の会」です。  
今年もコロナ禍で厳しい状況でしたが一月二十三日に関係者のみの発表会、八月の三嶋大社奉納演奏と十月八日の市民芸術祭と参加してきました。



洋楽部

三島市民吹奏楽団  
三島ジュニアアンサンブル  
NPO 法人静岡地域教育芸術協会

白道ジュニアフルート  
Remy の会

三島市合唱協議会  
ピアノ音楽研究会



洋楽部会は、Remy の会、三島市民吹奏楽団、三島市合唱協議会、三島ジュニアアンサンブル、白道ジュニアフルート、ピアノ音楽研究会、そして四月に新しく加盟しましたNPO 法人静岡地域教育芸術協会の七団体で構成されています。  
昨年苦渋の選択で参加を断念した合唱協議会が、マスクを着用しての演奏になりましたが、「中央女性学級」「コンチェルトゼフィロ」「三島グロリア合唱団」「混声合唱団みしま」の四団体が参加し、心のこもった温かいハーモニーが会場いっぱい響き渡りました。  
各団体の演奏も様々なジャンルの多彩なプログラムとなりました。クロージングセレモニーでは《今日の日はさよなら》を会場のお客様と全員合唱で感動の中閉幕となりました。出演者はじめ、ご協力していただいた皆様に心より感謝申し上げます。

青木 不二子

# 役員改選

今年度は役員改選の年にあたり規定に基ずき信任投票が行われ役員交代がありました。会長は留任、事務局長に杉山さん、事務局次長に小野寺さん、常任幹事の交代もあり新たな出発の年です。一方、副



事務局	鈴木武仁	稲葉讓二	勝沢圭子	花柳多美樹房	花柳尋美翠	馬場凌心	渡邊小夜子	大村義信	加藤哲夫	山本美鈴	杉山むつ美	青木不二子	小楠元廣	花柳尋美翠	久保田志津子	水口栄子	小野寺絢山	杉山義浩	小池泰琇	草間路代	藤間伊世之	副会長	初山宗源
	文化振興課	シアター万華鏡	長唄彩音会	花柳流 三島樹の会	花柳流 美翠会	岳心流 三島愛吟国風会	三島市華道連盟	三島美術協会	サンズフォーククラブ	寿鈴会	フラオマカアウリイ	Reunyの会	三島ジュニアアンサンブル	花柳流 美翠会	三島書作家協会	三島おやこ劇場	三島三曲の会	中島八坂太鼓保存会	瑠峰流 沼津吟詠会	三島三曲の会	藤間流伊世藤会伊世之社中		三島市茶道連盟

会長だった佐藤さんは顧問に、永年会計を担当して頂いた杉山さん、フリーフライトの三浦さんは退会されました。久保田さんを含め功労のあった四名の方に感謝状を贈り謝意を表しました。

## 話芸の夕べ

コロナ禍での開催は不安がありました。役員の方の協力を得て無事開催出来ました。花緑師匠の巧みな話芸に皆さん楽しんでくれました。

## 令和四年度市文協の主な行事

- 4月 8日 常任幹事会
- 22日 総会
- 5月 8日 常任幹事会
- 6月10日 常任幹事会
- 24日 幹事会
- 7月 8日 常任幹事会
- 8月12日 常任幹事会
- 26日 幹事会
- 9月 9日 常任幹事会
- 10月14日 常任幹事会
- 28日 幹事会
- 11月11日 常任幹事会
- 12月 9日 常任幹事会
- 12月16日 幹事会

- 1月13日 常任幹事会
- 2月10日 常任幹事会
- 24日 幹事会
- 3月10日 常任幹事会

- ◎ 8月10日 「三島の秋」発行
- ◎ 8月17日 三嶋大祭りパレード
- ◎ 11月17日 話芸の夕べ (柳家花緑)
- ◎ 12月下旬 会報「翡翠」31号発行
- ◎ 1月27日 新春のつどい

### ◎第60回三島市民芸術祭

#### 《展示部門》 三島市民生涯学習センター

- 写真展 10月 6日～10月 9日
- いけばな展 10月 6日～10月 9日
- 美術展 10月13日～10月16日
- 書道展 10月20日～10月23日

#### 《舞台部門》 三島市民文化会館

- 邦楽・吟詠詩舞部門 10月 8日
- 日本舞踊部門 10月 9日
- 芸能部門 10月16日
- 洋楽部門 11月13日



## 表紙

### 令和四年 呈茶席

☆今年の芸術祭は記念行事として和太鼓奏者の片岡氏の演奏と茶道連盟による呈茶席を設けました。小ホールホワイエで開かれた茶席は同じホールでの邦楽演奏と相まって「和」の雰囲気会場に漂い好評でした。

◆市制八十周年 三島市民文化会館三十周年の記念「第九」の演奏会が十一月二十三日に開催されました。本来ならば昨年十二月に行われるはずでしたがコロナの蔓延で止む無く今年になりました。百五十余名の合唱団となり、声という楽器は人の心を動かす力があるのだということに再認識、指揮者の和田氏のパワフルかつ繊細な音楽構成で、オーケストラ・合唱団・観客は三位一体となってベートーベンの歓喜の世界を創り上げることができました(第九実行委員長青木氏談)。市文協では会員が会場のお手伝いさせて頂きました。

## 編集スタッフ

編集委員

- 小池 泰雄 (吟詠・詩舞部)
- 藤間伊世之 (日本舞踊部)
- 稲葉 讓二 (演劇部)
- 水口 栄子 (演劇部)
- 加藤 哲夫 (ギャラリー部)

